



まつり運営に力を入れる潮来市商工会青年部の皆さん。



潮来市商工会青年部の高橋拓雄部長。

微笑む。新郎の内堀さんも「嫁さんがきれいでした」とはにかんでいた。篠木さんの両親も、カップル、親せきと談笑しながら「潮来はいいところです。みなさん温かい人たちで安心しました。ありがとうございます」と喜んでた。

歌謡曲「潮来花嫁さん」で全国区に

潮来市は茨城県東南部に位置し、霞ヶ浦や北浦など三方を水辺に囲まれた水郷の地。東京駅からはJR成田駅経由などで潮来駅下車。同八重洲口から水郷潮来まで直通約70分の高速バスもある。

江戸時代、嫁入り舟の舞台となった前川は、利根川經由水運の中継港として栄えたが、その後、鉄道の開通などで陸運が盛んになり、水運は衰退した。戦後、観光客の案内を兼ねて、地元の若い娘が舟を操っていたが、昭和30年(1955年)に美空ひばりさんの「娘

船頭さん」の映画ロケが行われたことがきっかけとなり全国区に。翌年、松竹映画「花嫁募集中」とタイアップして、花村菊江さんが歌った「潮来花嫁さん」の大ヒットにつながった。また橋幸夫さんの歌「潮来笠」も有名で、いずれもあやめ園に記念歌碑が建っている。嫁入り舟イベントが再現され、日本人の郷愁を誘ってやまない水郷の情景が甦った。

嫁入り舟のイベントは、まつり期間中の毎週水曜日、土曜日、日曜日に開催される。土曜の夜はライトアップされ、「宵の嫁入り舟」として幻想的な雰囲気を醸し出す。このほか水郷を楽しむ有料の民間遊覧コースとして十二橋遊覧、市営の手漕ぎ舟遊覧などもある。

娘船頭さんも活躍

まつり期間中は、県内外から多くの観光客を集め、地域経済の振興に好影響をもたらしている。前川川船

ろ舟保存会の皆さん。



[上] あやめ踊りを披露する地域の女性団体。子どもたちの愛らしいしぐさが拍手を浴びた。
[右] 「娘船頭さん」の操る舟で水郷の魅力を満喫する観光客。

